

児童相談所関連研修「児童心理司（応用）Ⅰ」

【実施日】	11月4日（火）・11月6日（木）
【受講決定者数】	50名
【受講生の声】	<p>・知能検査の役割、WISC-IVからVへの変化の内容、CHC理論について改めて学ぶことができ、自分の中でまとまっていなかった知識が整理できてよかったです。学ぶことや身につけるスキルは多々あると思いましたが、主訴を確認し適切な支援を提供するための情報を得るという視点に戻ることが大切だと思いました。またフィードバックなどで伝える時の表現の引き出しを増やしていきたいと思いました。</p> <p>普段の現場では、アタッチメント・トラウマ関連の困り感や症状なのか、発達特性が背景によるものか、もしくは両者とも影響を受けているケースが多いと感じています。グループワークでは他区の方がどのような現場でどのようにケース支援しているのかを伺うことができ、とても参考になりました。WISC検査でできることを整理し、他のアセスメントと組み合わせてケースの理解、支援につなげていきたいと思います。</p> <p>・普段の業務の中ではトラウマスペシフィックケアまでの実施はなかなかできないのですが、トラウマレスポンシブケアでトラウマの三角形を用いて心理教育、セルフマネジメントを繰り返していく方法をわかりやすく学べました。言葉の表現の引き出しをたくさん持っておきたいと思いました。</p>